

愛とヒューマンコンサート 宮古・大槌の会場9ヶ所で開催



5月20日～22日、「愛とヒューマンのミニコンサート」が宮古、大槌町の仮設集会所やホテルなど9か所で開催され、被災者の心をなごませました。

演奏は日本フィルハーモニー交響楽団のバイオリニスト松本克己さんとピアニストの金澤恵理子さんの2人で、各会場各々で約1時間のプログラムでのコンサートでした。主催は、被災地に音楽を贈る『愛とヒューマンのコンサート委員会』（事務局：今野強）。同委員会主催のコンサートは1993年から始まり、阪神大

震災や新潟中越地震、東日本大震災の鎮魂と復興を願いコンサートが続いています。岩手では2011年以來、第8弾になります。20日は大槌町で3か所、ベルガーディア鯨山「風の電話」ロビー、吉里吉里第2仮設集会所、三陸花ホテルの3か所で開催されました。

21日～22日は、山田町2か所（町民ランド仮設談話室、タブの木荘仮設談話室）、宮古市5か所（中里仮設、コープドラ、河南仮設、シートピアなど、鉾ヶ崎学童の家）でクラシックを中心としたミニコンサートを行い参加者の感動を呼びました。

参加者は「すばらしい演奏でした。復興が遅れ日々曇りがちな気分でしたが、少し気持がなごみました」と感想を述べていました。



日本共産党演説会

戦争法案廃案、震災復興を！

5月24日（日）、盛岡市都南文化会館キャラホールにおいて小池副委員長を迎え、日本共産党演説会が開催され、盛岡管内各地から約1,000人の人が参加し熱気にあふれました。

演説会では震災で延期され6～9月に実施される県議・市町議選をたたかう11人の予定候補が紹介され、斎藤信県議団長と庄子春治盛岡市議団長が、県政、市政で果たしてきた日本共産党のかけがえのない役割について述べ必勝の決意を述べました。とくに斎藤県議は震災復興で果たしてきた党議員団の役割は大きいと強調しました。

小池副委員長は戦争法案阻止のたたかいは日本の命運を左右する歴史的たたかいとなっていると強調。「戦後の国際政治の基本も理解せず、誤った戦争という認識もない首相は戦争法案を提案する資格がない」と厳しく批判。さらに暮らし、原発、TPP、政治とカネの問題など分かりやすく訴え、参加者に確信を与えるものとなりました。

